「りゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に伺う。という気持ちでお届けしています。

りゅうま伝

70号
2025年9月26日
高野竜馬

「北の国から」

8月、家族で北海道を旅してきた高野です。我が家では初めて旅行会社の企画したパッケージ旅行を利用し、現地でもバス移動。

初めてバスガイドさんのいる旅に子ども達もドキドキしているようでした。

訪れたのは定山渓、旭川、富良野、札幌、小樽。

「その中で、もう一回行くなら何処？」と訊かれたら富良野のファーム富田でしょうか。

ガイドさんに、富田忠雄さんという人が、ラベンダー畑を作り上げた話を聞いて感動したのです。有名な所なので行かれた方も多いことでしょう。

富田さんは21歳の時に、ラベンダーの美しさにとりつかれてお父さんから引き継いだ農地をラベンダー畑に変えてしまいます。

当初ラベンダーは鑑賞用に植えたのではなく、オイルを抽出して、香料として企業に販売してたんだそうです。

そしたら最初から大成功したんですって。ところが1972年に人工香料ができたために、ラベンダーを栽培しても採算が合わなくなるのです。ある資料によると北海道の生産量は百分の一以下になっています。

結果、わずか数年で富良野のラベンダー畑は富田さんの所一軒に。その富田さんも生活苦からラベンダーを切る覚悟を決めて、観光客に「今年がラベンダー観れるのも最後だからよく観てってね」と声をかけていたんだそうです。

すると翌年、奇蹟が起こるのです。

富田に見学者が訪れるようになったのです。JR北海道のポスターにファーム富田のラベンダー畑の写真が使われたことがキッカケでした。

そして旅行者から教わった手作りのサシエ(匂い袋)を販売してみると、飛ぶように売れたのだとか…。

それから数年経つとまた奇蹟が起こるのです。テレビドラマ「北の国から」で、子ども達が生き別れたお母さんとラベンダー畑で再会するシーンが放映されるのです。

ネットで調べると、そのロケ地がファーム富田のように書かれていますが、ガイドさんの話では別の所だったと言います。けれど全国から勘違いした人達が集まるようになったのだそうです。

これで全国区となり、今では年間、百万人の観光客が訪れBtoCのビジネスモデルで儲かっていらっしゃいます。

でも、その話以上に私が感動したのは、施設や農機具の美しさです。見事に手入れされていて、ディズニーランドようもキレイです。ラベンダーだけでなく、全てのモノを活かした経営。

ぜひ北海道、富良野を旅した際はファーム富田に行ってみてください。

感謝之印

たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13
090-3407-2123
https://www.takanozaikei.com メール fp.takano@gmail.com